

発達段階に応じて身につける情報活用能力

	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校	高等学校
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 図書から情報を集める 人に質問して情報を集める 実物を見たり触ったりするなどして、体験から情報を集める 数を数えたり、計測したりして情報を集める 問題の解決には必要な手順があることが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な図書や辞典を使って情報を集める 準備をしてインタビューで情報を集める 見学・実験・観察などで情報を集める インターネットで情報を集める アンケートを作成、回収して情報を集める デジタルカメラやタブレットなどで写真を撮影する 資料から、必要な情報を見つける 問題解決の手順はさまざまに工夫することができる 身近な生活でコンピュータが活用されていることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてICT機器を選択して情報を集める 電子メールで情報を集める 新聞記事や辞典などから情報を集める 使用するICTの特性を生かしながら情報を集める 複数の資料から、目的に応じて特定の情報を見つける 問題解決の手順を論理的に組み立てることのよさが分かる 体験を通して、プログラムの働きやよさ、情報技術が社会を支えていることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から、目的や必要に応じた情報を取り出す 複数の表やグラフからデータを読み取る 目的や必要に応じた適切な方法で情報を検索する 情報が社会に果たしている役割や及ぼしている影響についての理解 情報に関する法・制度やマナーの意義 	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術に関する技能を身に付ける 情報と情報技術の特性を理解する 記号の組み合わせ方を理解する 情報収集、整理、分析、表現役割や及ぼしている影響について理解する 情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法を理解する 情報技術の役割・影響を理解する 情報モラル・情報セキュリティを理解する
	(発達段階に応じて) ・情報機器の名称や操作スキル ・情報モラルや情報セキュリティに対する理解 ・身近な生活に情報機器が活用されていることへの気付き				
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真を並び替えるなどの操作をして情報を整理する 大切な言葉、文章を付箋やカードなどに書き出して整理する 取り出した情報をもとに、図やグラフなどに整理する はじめ、中、おわりの構成を考えて伝えたいことをまとめる 絵や文章、写真などを組み合わせ、対応させながらまとめる 順序を表す言葉を用いてまとめる 実物を見せながら表現する 実物投影機などのICT機器を活用して表現する 伝えたいことを明確にして、それを意識して表現する 事柄や意図する一連の活動の順序に沿って構成や組み合わせを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を適切な方法で分類したり、順番を付けたりして整理する 事実や他者の考えと自分の考え、分かっていることとたずねられていることなど、文章に書かれていることを分類して情報を整理する 表やグラフに表して、情報を整理する 見つけた情報から、必要な情報を選択する 引用したり要約したりして情報をまとめる 大切な言葉や部分を強調してまとめたり、表現したりする 他者の意見と自分の意見を関連させながら表現する 意図する一連の活動を実現するため、どのような動きの組み合わせが必要かを考える 内容の中心を明確にし、まとめをつくらせたり、自分の考えと理由の関係を明確にしたりしてまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、見つけた情報や整理した情報を比較したり、分類したりする 問題の解決に必要な情報を視点を定めて情報を整理したり、多面的に検討したりする 収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして、活用しやすいように情報を整理する 引用したり、実例を挙げたりして、根拠や理由を示してまとめる グラフや表を引用してまとめる 考えと根拠を区別してまとめる 相手の状況に応じて、表現方法を工夫する 意図する一連の活動を実現するため、動きの組み合わせや意図した活動に近づく改善策を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から、目的に応じて特定の情報を見つけ出し、関連付ける 複数の資料の情報を、目的に応じて整理したり解釈したりする 情報の受け手の状況に応じて、適切に情報を発信する 複数のグラフを比較したり、関連付けたりして、傾向を読み取る 「考えるための技法」を適切に活用して、情報を整理したり、自分の考えを明確にしたりする 整理・処理・解釈した情報をもとに比較・関連付けたり、多面的に考察したりするなどして判断する 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決・探究における情報を活用する 事象を情報とその結びつきの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成する 必要な情報を収集、整理、分析、表現する 新たな意味や価値を創造する 受け手の状況を踏まえて発信する 自らの情報活用を評価・改善する
	<考えるための技法>(発達段階に応じて活用したり、各教科等の学習において適切に発揮したりするようにする) 【順序付ける】複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える 【比較する】複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする 【分類する】複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる 【抽象化する(一般化する、統合する)】対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする 【関連付ける】複数の対象がどのような関係にあるかを見つける。ある対象に關係するものを見つけて増やしていく 【多面的に見る・多角的に見る】対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする 【具体化する(個別化する、分解する)】対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする 【構造化する】考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する 【理由付ける(原因や根拠を見つける)】対象の理由や原因、根拠を見つけたり予想したりする 【見通す(結果を予想する)】見通しを立てる。物事の結果を予想する ※詳細は小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編P82～				
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りには間違っただけの情報やその情報があることを知り、それらを適切に取扱おうとする態度 電話番号などの個人情報が悪用される危険性があることを知り、自分や他人の個人情報を大切にすることを意識する 自分たちの身の回りの情報機器に親しみ、進んで利用しようとする 友だちと協力して活動に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護や著作権の尊重などの配慮が必要であることを理解し、それらを大切にしようとする態度 情報モラルの大切さが分かり、発信する情報の適正さを考え行動しようとする態度 他人の情報の大切さが分かり、適切に取り扱おうとする態度 身の回りにはさまざまな情報機器が利用されていることに気づくとともに、目的に応じて利用しようとする 課題の解決に向け、粘り強くやり抜こうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 電子メール・掲示板・SNS等の特性を理解し、適切に利用しようとする態度 適切な情報モラルを身に付け、情報に対する責任について考え行動しようとする態度 他人の情報を大切に、適切に取り扱おうとする態度 身の回りの情報機器を、問題の解決や意図、目的に応じて適切に利用しようとする 情報技術のよさや価値を社会や自らの将来に関連付けて考える 	<ul style="list-style-type: none"> 電子メール・掲示板・SNS等の利用を通して、人権や著作権などの尊重が重要であることを理解し、適切な行動をしようとする態度 情報の誤認性や危険性を理解した上で、適切に利用しようとする態度 自分の健康面に留意して、適切に利用しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 多角的に情報を検討しようとする態度 試行錯誤し、計画や改善しようとする態度 責任をもって適切に情報を扱おうとする態度 情報社会に参画しようとする態度

特別支援学校

	特別支援学校		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合う情報機器に触れる スイッチ機器やタッチパネル等入力に必要な入力代替機器を繰り返し使用して体験を積む 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合う情報機器を探す 日常生活の中で情報を活用するにあたり必要とされるルールや常識を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合う情報機器を生活の中で活用する 情報の信頼性を吟味した上で、興味のあるものだけに絞るのではなく、幅広く情報収集する
	(発達段階に応じて) ・情報機器の名称や操作スキル ・情報モラルや情報セキュリティに対する理解 ・身近な生活に情報機器が活用されていることへの気付き		
B 思考力 判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> スイッチ機器やタッチパネル等の入力装置で自分の思いや考えを伝える 相手の考えを受け入れ、個々の表現方法で意思を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真などの情報を整理することができる 様々な入力機器やソフトで文字入力を体験する 検索した情報から、必要な情報を選択する 写真や動画を撮影する 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた情報を分類したり、順番を付けたりして整理する 自分に合った入力機器やソフトを使って、表やグラフを作成する 収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして、活用しやすいように情報を整理する 目的に応じて写真や動画を編集する
	<考えるための技法>(発達段階に応じて活用したり、各教科等の学習において適切に発揮したりするようにする) 【順序付ける】複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える 【比較する】複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする 【分類する】複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる 【抽象化する(一般化する、統合する)】対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする 【関連付ける】複数の対象がどのような関係にあるかを見つける。ある対象に関係するものを見つけて増やしていく 【多面的に見る・多角的に見る】対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする 【具体化する(個別化する、分解する)】対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする 【構造化する】考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する 【理由付ける(原因や根拠を見つける)】対象の理由や原因、根拠を見つけたり予想したりする 【見通す(結果を予想する)】見通しを立てる。物事の結果を予想する ※詳細は小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編P82～		
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器を使ってよい場所や時間を守ることができ 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク上のルールやマナーが必要であることを理解する コンピュータやインターネットの長時間の利用が身体に影響することを理解して活用しようとする 相手の気持ちを考えて情報発信しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の発信・利用には責任が伴うことを理解し、ネットワーク上のマナーを守って情報を活用しようとする ネット依存症など心身への影響を踏まえ、コンピュータやインターネットを適切に活用しようとする 情報の受け手に応じて、目的を明確にし、メディアの特性を踏まえながら、相手に自分の考えを的確に伝えようとする